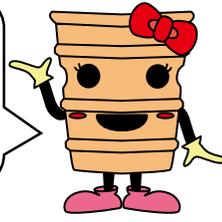


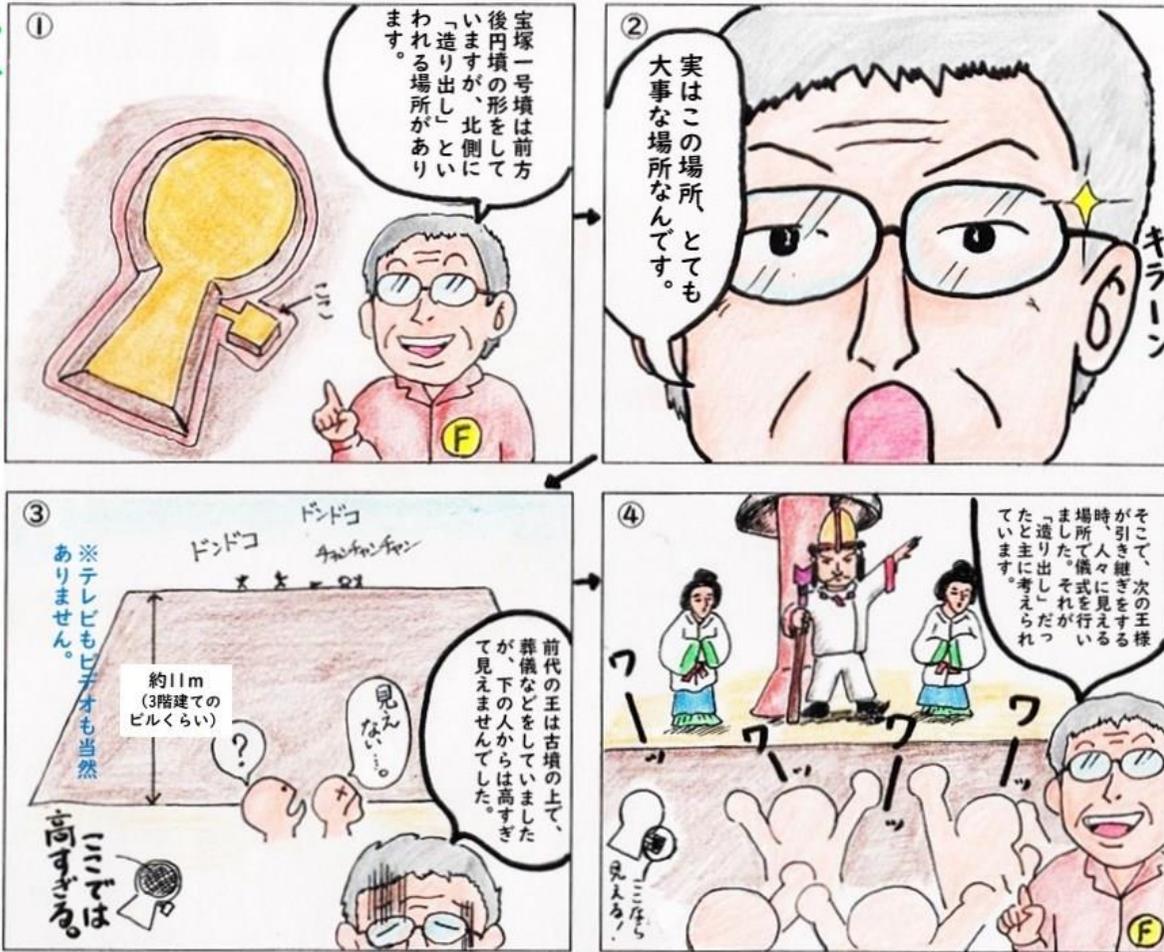
今月は宝塚古墳
のことについて
のお話です。



【宝塚1号墳の形】

船形埴輪が出土した宝塚1号墳。宝塚1号墳の形は「前方後円墳」といいます。上から見ると鍵穴のような形をしています。しかし、宝塚1号墳には「造り出し」と呼ばれるものが造られています。なぜ出来たのでしょうか？古墳に詳しいF先生に聞いてみました。

教えて！F先生



伊勢の国を治める王が地域の人々に向かって重要な儀式を行い、自分の存在をアピールする”まつりの場”として「みんなにも見える」場を求め、造られたのがこの「造り出し」でした。

それは単なる王の権力の誇示ではなく、時の政権が国全体をまとめていく中で、伊勢の王が地域の人々の心を掴み、団結させたいという意識の表れだったのかもしれませんが、悠久の時を経て、宝塚1号墳の造り出しは訪れた人だれもが目にする場所になっています。ちょっとした遊び場所のように感じるかもしれませんが、1,600年前の古墳時代に思いを馳せ、その場所で昔あった「まつり」を想像し、当時の伊勢の王の思いを感じたり、古墳を造った人々の思いに心を寄せてみませんか？

現在の造り出しの様子



宝塚1号墳は宝塚古墳公園から見上げる所にあります。機会があったら、みなさんも「造り出し」をご覧ください。自分の目で見て確かめてみる。そんな体験ができるのが宝塚古墳公園であり、その当時の息吹や景色を思い浮かべることができたなら、きっとタイムトラベルをしたような気持ちになれますよ。

(担当)

【所長コラム】

6月 水無月

水無月とは、水の無い月ではなく、田植えが終わった田一面に水をはる月(田水之月)のことだともいわれています。

日本では、弥生時代(今から約2,300年前)に水田稲作が大陸から伝わり、狩猟採集生活から、農耕生活に移っていきました。ムラをつくり、みんなで協力して稲作を行い、食料を貯えることができるようになり、生活が変わりました。そのような生活の移り変わりを「知りたい!大昔の暮らし(縄文・弥生・古墳時代)」で紹介しています。松阪の遺跡や古墳からの出土品とともに、当時の生活の様子を知る機会にしてください。はにわ館で6月13日まで開催しています。

6月の市民ギャラリーは、絵画・書道・写真など6つのグループの作品展が予定されています。緑の美しい鈴の森公園を抜けて、あなたの好きな作品を見つけに文化財センターにお越しください。



文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

6月の休館日は7日(月)14日(月)21日(月)28日(月) 開館時間は9:00~17:00です

【はにわ館】 入館料110円(18歳以下無料) 入館は16:30まで

第一展示室 ■常設展 「宝塚古墳の謎」

第二展示室 ■学習支援展示 「知りたい!大昔の暮らし(縄文・弥生・古墳時代)」4/17(土)~6/13(日)

【ギャラリー】 入場無料

第2ギャラリー ■白日会の中南勢研究会展 6/1(火)~6/6(日)9時~17時※初日は13時から、最終日は16時まで

第1ギャラリー ■小波書院書作展 6/5(土)~6/6(日)10時~17時まで※最終日は16時まで

第1~3ギャラリー

■西黒部日本画教室展 6/9(水)~6/13(日)9時~17時 ※最終日は15時まで

第2ギャラリー ■第4回彩嬉会作品展 6/17(木)~6/20(日)9時~17時 ※最終日は16時まで

第1ギャラリー ■同窓3人展 6/25(金)~6/27(日)9時~17時 ※初日は13時から、最終日は15時まで

第1~3ギャラリー

■第9回松阪写真交流会フォトフェスティバル 6/29(火)~7/4(日)10時~17時

※初日は13時から、最終日は16時まで

【発行】松阪市文化財センター【☎】0598-26-7330

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

文化財センター情報はこちら

